



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月7日

上場会社名 株式会社 椿本チエイン
 コード番号 6371 URL <http://www.tsubakimoto.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大原 靖
 問合せ先責任者 (役職名) 社長室長 (氏名) 和田 幸子
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月8日 配当支払開始予定日 平成28年12月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

上場取引所 東

TEL 06-6441-0054

平成28年12月8日

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	95,740	△5.7	9,490	△11.5	9,655	△15.0	6,392	△11.6
28年3月期第2四半期	101,488	9.2	10,727	8.1	11,362	9.1	7,232	9.9

(注)包括利益 29年3月期第2四半期 △2,475百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 5,055百万円 (△35.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	34.17	—
28年3月期第2四半期	38.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	246,018	141,342	56.0
28年3月期	254,106	145,815	55.9

(参考)自己資本 29年3月期第2四半期 137,873百万円 28年3月期 142,041百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
29年3月期	—	11.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	11.00	22.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
通期	197,000	△3.4	19,700	△8.7	19,500	△11.8	12,700	△0.5	—	67.89

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	191,406,969 株	28年3月期	191,406,969 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	4,335,083 株	28年3月期	4,330,756 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	187,073,968 株	28年3月期2Q	187,089,877 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づくものであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、今後の当社グループを取り巻く経営環境の変化、市場の動向、為替の変動などにより、予想数値と異なる場合があります。また、業績に影響を与え得る要素はこれらに限定されるものではありません。

(参考) 個別業績の概要

平成29年3月期第2四半期の個別業績 (平成28年4月1日～平成28年9月30日)

個別経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	39,178	△8.7	2,595	△33.1	6,244	△41.1	5,075	△42.7
28年3月期第2四半期	42,924	4.7	3,877	4.7	10,603	42.7	8,853	52.6

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 5
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 5
3. 四半期連結財務諸表	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 12
(継続企業の前提に関する注記)	P. 12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 12
(セグメント情報等)	P. 12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日～平成28年9月30日）における海外経済は、米国では景気の拡大が続く、欧州も概ね緩やかな景気の回復基調で推移しましたが、中国の景気減速などアジア経済の成長は鈍化しました。

わが国経済は、緩やかな回復基調にあるものの、円高が続くなど不透明感の強い状態が続きました。

このような状況のもと、当社グループの事業環境は概ね堅調に推移しましたが、円高による為替換算が業績に影響を及ぼした結果、当第2四半期連結累計期間の受注高は992億3百万円（前年同期比4.6%減）、売上高は957億40百万円（同5.7%減）となりました。損益につきましては、営業利益は94億90百万円（同11.5%減）、経常利益は96億55百万円（同15.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は63億92百万円（同11.6%減）となりました。

当社グループは「中期経営計画2016」の重点課題である、市場ニーズに徹底対応した商品開発やモノづくり、グループ総合力を生かしたビジネスの拡大、収益力の強化への取り組みを引き続き推進してまいります。

なお、セグメント別の概況は、次のとおりであります。

[チェーン]

チェーンにつきましては、米州における動力伝動用チェーンの販売は堅調に推移しましたが、日本国内における動力伝動用チェーンやケーブル・ホース支持案内装置などの販売減少などから、前年同期比で減収となりました。

以上により、チェーンの受注高は293億8百万円（前年同期比8.8%減）、売上高は283億81百万円（同10.5%減）、営業利益は30億65百万円（同2.0%減）となりました。

[精機]

精機につきましては、日本国内において直線作動機やクラッチの販売が堅調に推移しましたが、中国における減速機の販売が減少したことなどから、前年同期比で減収となりました。

以上により、精機の受注高は105億72百万円（前年同期比4.1%減）、売上高は103億22百万円（同5.2%減）、営業利益は9億54百万円（同21.3%減）となりました。

[自動車部品]

自動車部品につきましては、日本国内における自動車エンジン用タイミングドライブシステムの販売は減少したものの、海外の各拠点において同商品の販売が好調であったことから、前年同期比で増収となりました。

以上により、自動車部品の受注高は363億51百万円（前年同期比1.4%減）、売上高は364億73百万円（同1.8%増）となりましたが、減価償却費の増加などにより営業利益は58億22百万円（同1.6%減）となりました。

[マテハン]

マテハンにつきましては、米国や欧州において金属屑搬送・クーラント処理装置などの売上が増加しましたが、日本国内における物流業界向けやライフサイエンス分野向け、自動車業界向けシステムの売上が減少したことなどから、前年同期比で減収となりました。

以上により、マテハンの受注高は218億97百万円（前年同期比4.2%減）、売上高は194億76百万円（同11.7%減）、営業損失は37百万円（前年同期は4億81百万円の営業利益）となりました。

[その他]

その他の受注高は10億73百万円（前年同期比1.4%増）、売上高は10億85百万円（同8.2%増）となりましたが、損益については25百万円の営業損失（前年同期は20百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して80億88百万円減少し、2,460億18百万円となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金が30億51百万円減少したことなどから、前連結会計年度末と比較して26億51百万円減少し、1,138億85百万円となりました。

固定資産は、保有株式の時価下落などにより投資その他の資産が24億47百万円減少したこと、減価償却などにより有形固定資産が20億11百万円減少したこと、のれんの償却などにより無形固定資産が9億79百万円減少したことなどから、前連結会計年度末と比較して54億37百万円減少し、1,321億32百万円となりました。

(負債)

負債は、支払手形及び買掛金が15億47百万円減少したこと、未払金等の減少によりその他の流動負債が6億77百万円減少したこと、繰延税金負債等の減少によりその他の固定負債が5億60百万円減少したこと、賞与引当金が4億98百万円減少したことなどから、前連結会計年度末と比較して36億15百万円減少し、1,046億76百万円となりました。

(純資産)

純資産は、利益剰余金が45億25百万円増加した一方で、為替の変動により為替換算調整勘定が81億66百万円減少したことなどから、前連結会計年度末と比較して44億73百万円減少の1,413億42百万円となり、自己資本比率は56.0%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して29億16百万円増加し、293億39百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は122億73百万円（前年同期は85億41百万円の増加）となりました。これは、法人税等の支払額が31億19百万円あった一方で、税金等調整前四半期純利益を94億39百万円計上したこと、減価償却費を50億54百万円計上したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は68億79百万円（前年同期は69億96百万円の減少）となりました。これは、自動車部品生産設備等への設備投資代金の決済に73億95百万円支出したことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は11億33百万円（前年同期は33億54百万円の減少）となりました。これは、短期借入金が8億97百万円増加した一方で、配当金の支払による支出が18億70百万円あったことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の実績ならびに現時点における下半期の円高による為替の影響等を勘案した結果、平成28年5月10日に公表しました平成29年3月期の通期連結業績予想につきまして、下記のとおり修正いたします。

通期連結業績予想数値の前提となる下半期の為替レートは、1米ドル=100円、1ユーロ=110円としております。

平成29年3月期通期の連結業績予想数値の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成28年5月10日 発表)	百万円 206,000	百万円 20,800	百万円 21,000	百万円 13,400	円 銭 71.63
今回修正予想(B)	197,000	19,700	19,500	12,700	67.89
増減額(B-A)	△9,000	△1,100	△1,500	△700	—
増減率(%)	△4.4	△5.3	△7.1	△5.2	—

(ご参考) 平成29年3月期通期の個別業績予想数値の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成28年5月10日 発表)	百万円 85,000	百万円 7,700	百万円 12,500	百万円 9,300	円 銭 49.71
今回修正予想(B)	83,000	6,700	11,000	8,000	42.76
増減額(B-A)	△2,000	△1,000	△1,500	△1,300	—
増減率(%)	△2.4	△13.0	△12.0	△14.0	—

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日。以下「回収可能性適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間から適用し、繰延税金資産の回収可能性に関する会計処理の方法の一部を見直しております。

回収可能性適用指針の適用については、回収可能性適用指針第49項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点において回収可能性適用指針第49項(3)①から③に該当する定めを適用した場合の繰延税金資産および繰延税金負債の額と、前連結会計年度末の繰延税金資産および繰延税金負債の額との差額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加算しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首において、繰延税金資産(投資その他の資産)が26百万円増加し、利益剰余金が26百万円増加しております。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備および構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,195	22,216
受取手形及び売掛金	48,726	45,674
有価証券	7,533	7,938
商品及び製品	15,188	14,378
仕掛品	10,042	9,551
原材料及び貯蔵品	7,922	7,912
その他	7,329	6,580
貸倒引当金	△403	△368
流動資産合計	116,536	113,885
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	26,398	25,151
機械装置及び運搬具（純額）	29,456	28,446
工具、器具及び備品（純額）	3,192	3,092
土地	37,609	37,448
建設仮勘定	6,120	6,627
有形固定資産合計	102,777	100,766
無形固定資産	4,352	3,372
投資その他の資産		
投資有価証券	22,279	20,205
その他	8,289	7,916
貸倒引当金	△128	△127
投資その他の資産合計	30,440	27,993
固定資産合計	137,570	132,132
資産合計	254,106	246,018

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,986	23,439
短期借入金	9,316	9,711
1年内返済予定の長期借入金	1,231	11,070
未払法人税等	2,169	1,789
賞与引当金	3,732	3,233
工事損失引当金	30	19
資産除去債務	-	5
その他	14,058	13,380
流動負債合計	55,525	62,651
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	14,269	4,230
役員退職慰労引当金	114	94
退職給付に係る負債	13,432	13,316
資産除去債務	262	257
その他	14,687	14,126
固定負債合計	52,766	42,024
負債合計	108,291	104,676
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,076	17,076
資本剰余金	12,658	12,658
利益剰余金	112,395	116,921
自己株式	△2,074	△2,077
株主資本合計	140,056	144,579
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,602	7,022
繰延ヘッジ損益	54	12
土地再評価差額金	△10,614	△10,614
為替換算調整勘定	6,171	△1,994
退職給付に係る調整累計額	△1,229	△1,132
その他の包括利益累計額合計	1,985	△6,706
非支配株主持分	3,774	3,469
純資産合計	145,815	141,342
負債純資産合計	254,106	246,018

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	101,488	95,740
売上原価	70,652	66,861
売上総利益	30,836	28,878
販売費及び一般管理費	20,108	19,388
営業利益	10,727	9,490
営業外収益		
受取利息	62	38
受取配当金	448	413
その他	463	493
営業外収益合計	974	945
営業外費用		
支払利息	154	138
為替差損	-	369
その他	184	272
営業外費用合計	339	779
経常利益	11,362	9,655
特別利益		
子会社清算配当金	7	-
特別利益合計	7	-
特別損失		
固定資産除売却損	12	-
投資有価証券評価損	8	-
事業再編損	-	216
特別損失合計	20	216
税金等調整前四半期純利益	11,349	9,439
法人税、住民税及び事業税	3,847	2,788
法人税等調整額	146	130
法人税等合計	3,994	2,918
四半期純利益	7,354	6,520
非支配株主に帰属する四半期純利益	122	128
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,232	6,392

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	7,354	6,520
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,082	△576
繰延ヘッジ損益	12	△42
為替換算調整勘定	△314	△8,416
退職給付に係る調整額	75	97
持分法適用会社に対する持分相当額	9	△59
その他の包括利益合計	△2,299	△8,996
四半期包括利益	5,055	△2,475
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,891	△2,298
非支配株主に係る四半期包括利益	163	△177

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	11,349	9,439
減価償却費	5,062	5,054
のれん償却額	268	268
固定資産除売却損益(△は益)	62	44
投資有価証券評価損益(△は益)	8	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	13	△7
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	206	109
売上債権の増減額(△は増加)	△1,579	791
たな卸資産の増減額(△は増加)	△784	△1,075
仕入債務の増減額(△は減少)	907	△261
その他	△1,249	694
小計	14,266	15,057
利息及び配当金の受取額	533	461
利息の支払額	△157	△125
法人税等の支払額	△6,101	△3,119
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,541	12,273
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,553	△927
定期預金の払戻による収入	1,685	1,273
投資有価証券の取得による支出	△190	△6
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△381	-
関係会社株式の売却による収入	-	18
関係会社出資金の払込による支出	△98	-
子会社の清算による収入	20	-
短期貸付金の純増減額(△は増加)	△139	112
長期貸付けによる支出	△12	△13
長期貸付金の回収による収入	16	14
固定資産の取得による支出	△6,418	△7,395
固定資産の売却による収入	74	45
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,996	△6,879

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△138	897
長期借入れによる収入	368	305
長期借入金の返済による支出	△1,816	△214
リース債務の返済による支出	△85	△116
割賦債務の返済による支出	△4	△4
非支配株主からの払込みによる収入	151	-
配当金の支払額	△1,683	△1,870
非支配株主への配当金の支払額	△136	△127
自己株式の取得による支出	△10	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,354	△1,133
現金及び現金同等物に係る換算差額	△251	△1,784
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△2,061	2,476
現金及び現金同等物の期首残高	27,360	26,422
新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高	-	440
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,298	29,339

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額
	チェーン	精機	自動車 部品	マテハン	計				
売上高									
外部顧客への売上高	31,723	10,890	35,821	22,050	100,485	1,002	101,488	—	101,488
セグメント間の内部 売上高又は振替高	774	190	—	108	1,074	421	1,495	△1,495	—
計	32,498	11,081	35,821	22,158	101,559	1,424	102,984	△1,495	101,488
セグメント利益 (営業利益)	3,128	1,212	5,915	481	10,737	20	10,757	△29	10,727

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス、保険代理業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△29百万円には、セグメント間取引消去114百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△144百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額
	チェーン	精機	自動車 部品	マテハン	計				
売上高									
外部顧客への売上高	28,381	10,322	36,473	19,476	94,654	1,085	95,740	—	95,740
セグメント間の内部 売上高又は振替高	729	131	—	222	1,082	311	1,394	△1,394	—
計	29,110	10,453	36,473	19,699	95,737	1,397	97,134	△1,394	95,740
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	3,065	954	5,822	△37	9,804	△25	9,779	△289	9,490

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス、保険代理業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△289百万円には、セグメント間取引消去77百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△367百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。